

なぜアメリカ大企業はイノベーション投資をしなくなったのか

Investing in Innovation: Confronting Predatory Value Extraction in the US Corporation

本セミナーでは、アメリカ経営史研究の権威であるウィリアム・ラゾニック氏（米マサチューセッツ州立大学名誉教授）をお招きして、同氏の米企業についての研究成果をご講演いただき、日本企業に与える示唆について議論します。

アメリカ大企業においてイノベーションへの投資が損なわれている「金融化」の構造とその原因を解明します。また、革新的な製品やサービスの創出とともに、持続可能な繁栄を支える制度構築のための処方箋を提示し、日本企業の活発なイノベーション創出のための仕組みづくりについて議論します。

※セミナーは英語で行います。日本語の通訳はありません。

日時

2025年1月25日（土） 15:00～17:00（開場14:30）

会場

法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー25階 研究所会議室5

※開催方法は対面のみとなります。Live配信、録画配信は行いません。

プログラム

15:00～15:05

オープニング・リマークス

金 容度 法政大学経営学部教授、イノベーション・マネジメント研究センター所員

15:05～16:20

講演

なぜアメリカ大企業はイノベーション投資をしなくなったのか

ウィリアム・ラゾニック（William Lazonick） マサチューセッツ州立大学名誉教授

1975年、ハーバード大学で博士号（経済学）を取得した後、75年～85年、ハーバード大学経済学部、85年～93年、コロンビア大学Barnard College、1993年よりマサチューセッツ州立大学で准教授、教授として教えている。ビジネス歴史分野の研究をリードしてきた代表的な研究者である。

2014年、論文“Profits Without Prosperity: Stock Buybacks Manipulate the Market and Leave Most Americans Worse Off”で、同年の*Harvard Business Review*掲載の最も優れた論文に与えられるHBR-McKinsey Awardを受賞しており、2010年の著書、*Sustainable Prosperity in the New Economy*ではSchumpeter Prizeを受賞している。他にも、*Investing in Innovation: Confronting Predatory Value Extraction in the U.S. Corporation* (Cambridge University Press); *Competitive Advantage on the Shop Floor* (Harvard University Press); *Predatory Value Extraction* (Oxford University Press、共著) など数多くの著作がある。

16:20～16:55

質疑応答

16:55～17:00

クロージング・リマークス

金 容度

申込方法

下記専用サイトよりお申し込みください。

<https://forms.gle/ArZChzevEQG4t4Dm7>

申込締切

2025年1月22日（水）



使用言語
英語

※日本語通訳
はありません

定員

先着30名

参加費
無料

